

市町村名	石垣市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	平久保半島エコロード整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立	
担当部課名	建設部	都市建設課	事業実施 年度	平成 25	～ 令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	国立公園区域に指定された区域である平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、豊かな自然景観、自然環境に配慮した環境共生型(エコロード)の道路整備を行う。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中 の予算額・ 執行額 【単位:千円】		～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	32,187	10,000	23,000	121,090	186,277	
	B. 執行済額	31,233	9,960	22,990	120,708	184,891	
	うち 交付金充当額	25,258	7,968	18,392	96,565	148,183	
	執行率(％)(B/A)	97.0%	99.6%	100.0%	99.7%	99.3%	
	執行状況の説明	事業計画どおり執行した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	測量設計の実施	目 標			実施		
		実 績			実施		
	道路整備工事の実施	目 標	実施	実施	実施		
		実 績	実施	実施	実施		
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	測量設計の完了	目 標			完了		
		実 績			完了		
	道路整備工事の完了	目 標	1件	1件	完了		
		実 績	1件	1件	完了		

市町村名		石垣市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
		エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人以上	目 標			810人		
			実 績			-		
事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 目標/発現年度
	エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人以上		目 標	810人	810人	810人		810人
			実 績	-	-	-		
			目 標					
			実 績					
	状況説明	【R3年度】 ・本事業で整備したエコロードについては、スポーツイベントを通して検証していくこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び同感染症拡大防止のための自粛等も重なり、予定していたイベントの実施には至っていない。 一方で、整備後に公表したPR動画の閲覧者数1,350人うち、810人(6割)がエコロードを利用すると仮定した場合、令和4年3月31日現在の閲覧者数が1,566人となり、その6割が940人の結果であることから、目標値を上回ることになったものと思料できる。 【R4年度】 ・本事業で整備したエコロードについては、スポーツイベントを通して検証していくこととしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び同感染症拡大防止のための自粛等も重なり、令和4年度も予定していたイベントの実施には至っていない。 【R5年度】 ・本事業で整備したエコロードについては、スポーツイベントを通して検証していくこととしていたが、コロナ禍明けの大会開催について検討段階であり、令和5年度も予定していたイベントの実施には至っていない。						
	【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・エコロードについては、スポーツイベントの実施には至っていないが、公式ホームページやSNS等を通じた周知もあり、整備後のエコロードの利用者は増加している。周知後は当地へのアクセスについての問い合わせもあることから新型コロナウイルス感染症拡大が終息したのちには、当地の利活用について取り組む必要がある。 【R4年度】 ・R3年度に引き続き、当地への問い合わせがあること、新型コロナウイルス感染症に対する自粛が緩和され観光客が増加している現状があることから、当地の利活用の検討を推し進めていく必要がある。 【R5年度】 ・R4年度に引き続き、当地への問い合わせがあることや自転車(グラベルロード)など、当地の利用者が増加している現状があることから、当地の利活用の検討を推し進めていく必要がある。			【R3年度】 ・今後は、整備したエコロードへのアクセスについてのマップを作成し公表するとともに、スポーツイベントを始めとする利活用の向上に向けて検討を進める必要がある。 【R4年度】 ・R3年度に引き続き利活用の向上に向けて検討を進める必要がある。 【R5年度】 ・トレイルランや自転車(グラベルロード)などのスポーツイベントの実施について、関係部署などに呼びかけ、引き続き利活用の向上に向けて検討を進める必要がある。					

市町村名

石垣市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度】

・市民や観光客等に当該地までのアクセス周知を図るため、市公式ホームページやSNS等を活用し、情報発信を行うとともに、エコロードの更なる利活用について、利用者が休憩の出来る憩いの場として東屋の整備、歴史的な道であるヤッサクイツや安良村跡等の文化資源を繋ぐ遊歩道や散策路の整備、平久保半島地域における資源の名称や位置、優れた景観スポット、現在地等が表示された案内板・ガイドマップの設置、動植物資源や歴史・文化資源を活用したツアーメニュー、牧場を活かしたツアーメニュー、自転車(マウンテンバイク)乗馬で巡るツアーメニュー、良好な海岸・海域環境を活用したツアーメニュー、地域資源を活用したイベント等の企画・運営の検討に取り組むこととする。

【R4年度】

・R3年度に引き続き情報発信を行うとともに、各種ツアーメニュー、地域活用したイベント等の企画、運営の検討に取り組むこととする。

【R5年度】

・自粛が緩和され観光客が増加している現状があることから、エコロードを活用したスポーツイベントの実施について、引き続き情報発信を行うとともに、各種ツアーメニュー、地域活用したイベント等の企画、運営の検討に取り組むこととする。

市町村名	石垣市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開		
担当部課名	建設部	施設管理課	事業実施 年度	平成 24	～ 令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ－1－(1)		
事業内容	観光施設利用者の利便性を確保するため、便益施設の整備、機能強化を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		～29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計		
	A. 予算現額	132,883		186,286	57,383	376,552		
	B. 執行済額	122,918		159,553	17,917	300,388		
	うち 交付金充当額	98,331		127,642	14,333	240,306		
	執行率(%) (B/A)	92.5%		85.6%	31.2%	79.8%		
	執行状況の説明	繰越については、平久保灯台駐車場整備に向けた用地取得にあたり、地権者との調整に不測の日数を要したことから、年度内の完了が困難となったため、翌年度に繰越した。 繰越後の不用については、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等の影響に伴い、整備地の用地取得に係る地権者との交渉等を進めることができない期間が発生し、さらに施設整備箇所の見直しにより、用地取得までに不測の日数を要することとなったため、年度内完了が困難となったことによるものである。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	底地海水浴場の実施設計		目 標				実施	
			実 績				実施	
	平久保灯台駐車場用地の取得		目 標				完了	
			実 績				未完了	
	玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の実施		目 標			実施		
			実 績			実施		
	平久保灯台駐車場の実施設計の実施		目 標			実施		
			実 績			実施		
	玉取崎展望台利便施設設計業務の実施		目 標	実施				
			実 績	実施				
	平久保灯台駐車場に係る基本設計業務の実施		目 標	実施				
			実 績	実施				

市町村名		石垣市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】									
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況						
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
	底地海水浴場の実施設計完了	目 標					完了		
		実 績					完了		
	平久保灯台駐車場用地の取得完了	目 標					完了		
		実 績					未完了		
	玉取崎展望台の便利施設及び園路の整備の実施完了	目 標				完了			
		実 績				完了			
	平久保灯台駐車場の実施設計の実施完了	目 標				完了			
		実 績				完了			
	玉取崎展望台便利施設設計業務の完了	目 標	完了						
		実 績	完了						
平久保灯台駐車場に係る基本設計業務の完了	目 標	完了							
	実 績	完了							
事業完了後の取り組み									
事業完了後の 成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況						
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度 目標/発現年度
	底地海水浴場及び平久保灯台の利便性が確保されたか (80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	目 標						80%	80%
		実 績						30%	
状況説明	【R4年度】 ・底地海水浴場の実施設計後、現時点で工事未着手である。 ・予定していた平久保灯台駐車場の用地取得へ向けて交渉を重ねてきたが、現在も取得に至っていない。 ・アンケートについては未実施である。 【R5年度】 ・底地海水浴場の実施設計後、現時点でPFI導入(令和6年度事業者選定予定)に向け取り組んでいる。 ・平久保灯台駐車場について、施設整備個所の見直しにより事業執行の目途が立たないことから、交付金事業では取り下げることとなった。								
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R4年度】 ・底地海水浴場については、R2年度の実施設計後、現時点では工事着手にいたっていない。市内の他キャンプ施設(海水浴場)が閉鎖しており、海の行楽客が当該海水浴場に流れることや、コロナ禍明けの観光客の増加も見込まれるため、今後、底地海水浴場の利用者は増加していくと考えられる。 ・平久保灯台駐車場については、地権者と交渉を重ねてきたが、現時点では用地取得にいたっていない。新型コロナウイルス感染症対策が緩和されてきており、観光客の増加も見込まれるため、駐車場不足の早期解消が求められる。 【R5年度】 ・底地海水浴場の海岸浚渫工事は関係機関と協議し、慎重に進めていく必要がある。 ・平久保灯台については駐車場の整備が完了しておらず、利便性向上にいたっていない。				【R4年度】 ・底地海水浴場については、干潮時の利便性向上のため、浚渫工事の実施を検討していく。 ・平久保灯台駐車場については、当初予定していた土地の地権者との交渉は困難な状況であるため、整備予定地を変更する必要がある。 【R5年度】 ・海岸の浚渫工事は、関係機関との調整に時間を要しているため、まずは、PFI導入により海水浴場としての魅力向上を図る。 ・平久保灯台の駐車場整備に向け、用地取得のため地権者と交渉を図る。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)									
【R4年度】 ・底地海水浴場については、市民や観光客の利便性確保のため、海水浴場としての機能を維持、向上できるような取組について検討していく。 ・平久保灯台駐車場整備の着手に向け、当初の予定地を変更し引き続き地権者との用地交渉を重ねる。駐車場不足の解消により、市民及び観光客の利便性向上を図る。 【R5年度】 ・観光施設の利便性を向上できるよう、PFI導入や、駐車場整備に向けた用地取得を進め、魅力ある施設となるよう取り組む。									

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	旧空港跡地環境影響評価事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - イ 市場特性に対応した誘客活動の展開	
担当部課名	建設部	都市建設課	事業実施 年度	平成 28	～ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～30年度	R1年度	R2年度		R3年度	合計
	A. 予算現額	88,392	33,165			25,289	146,846
	B. 執行済額	88,391	24,545			4,081	117,017
	うち 交付金充当額	70,711	19,635			3,264	93,610
	執行率(%) (B/A)	100.0%	74.0%			16.1%	79.7%
	執行状況の説明	R1年度の補正額については、執行残に伴う事業費減額である。また、R1年度(繰越)の不用については、業務内容及びスケジュール等の見直しに伴う委託料の執行残である。 R3年度について、空港跡地土地地区画整理事業の計画変更に伴い、環境影響評価の再予測・評価等に変更が生じたことから、年度内での完了が困難となったため、環境影響評価作業にかかる委託料を翌年度に繰越した。 R3年度(繰越)の不用については、業務内容及びスケジュール等の見直しに伴う委託料の執行残によるものである。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	評価書作成手続の実施		目 標		(実施)		
			実 績		実施		
環境影響予測評価及び準備書手続の実施		目 標	(実施)				
		実 績	実施				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	評価書手続の完了(環境影響評価事業の完了)		目 標		(完了)		
			実 績		未完了	完了	
	環境影響予測評価及び準備書手続の完了		目 標	(完了)			
			実 績	完了			

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度 目標/発現年度
	【R5成果目標】 旧空港跡地約50haの有効活用		目 標				約50ha	約50ha
			実 績				-	
	状況説明	【令和5年度】 ・R3繰越の成果である準備書(案)を基に、準備書を作成し、令和5年5月に沖縄県環境政策課へ送付した。その後、令和5年10月に開催された沖縄県環境影響評価審査会を経て、令和5年11月に準備書に対する沖縄県知事意見を受けており、それに対して評価書(案)の作成を進めている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【令和5年度】 R3年度の準備書作成の段階で、空港跡地土地区画整理事業区域内に配置予定している調整池の規模縮小や、雨水流出係数調整等の計画変更が生じ、年度内での評価書作成が困難となったため評価書作成に遅れが生じた。 R5年度より、交付金ではなく市単費での対応となっている。環境影響評価書の作成に時間を要しているため、目標達成には至っていないものの、R6年度にて目標達成となる見込みである。			【令和5年度】 令和5年度中では目標達成には至っていないものの、沖縄県及び沖縄県環境影響評価審査会との協議等を行い、評価書(案)の作成を進めていく予定である。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【令和5年度】 ・令和6年度の都市計画決定に向けて、評価書に係る手続きを速やかに進め、沖縄県及び沖縄県環境影響評価審査会との協議を行い、評価書作成に取り組むこととする。併せて、都市計画決定に係る空港跡地土地区画整理事業については、旧空港跡地連絡協議会等の関係機関との調整を十分に行い、本事業と連携して進めていくこととする。								